

地域医療支援病院業務報告書

令和5年9月11日

愛知県知事殿

開設者 住 所

〔法人の場合は主たる
事務所の所在地〕 愛知県長久手市平池901番地

氏 名

〔法人の場合は名称及
び代表者職・氏名〕 愛知県厚生農業協同組合連合会
代表理事理事長 宇野 修二

下記のとおり、令和4年度の業務に関して報告します。

記

1 病院の名称等

名 称	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院					
所 在 地	愛知県豊田市浄水町伊保原500-1					
診 療 科 名	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、内分泌・代謝内科、腎臓内科、血液内科、アレルギー科、緩和ケア内科、外科、消化器外科、乳腺外科、血管外科、小児外科、呼吸器外科、脳神経外科、心臓外科、整形外科、リウマチ科、精神科、小児科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、形成外科、皮膚科、産婦人科、歯科口腔外科、化学療法内科、リハビリテーション科、救急科、麻酔科、病理診断科、放射線科、放射線診療科、放射線診断科、感染症内科、臨床検査科、ペインクリニック外科 計40科					
病 床 数	精 神	感 染 症	結 核	療 養	一 般	合 計
		6			600	606

2 施設の構造設備

施 設 名	設 備 概 要
集 中 治 療 室	(主な設備) 人工呼吸/PCPS/IABP/超音波エコー/透析装置/生体情報モニター/除細動機/体外式ペースメーカー/无影灯6、床数6床 (ICU6床)
化 学 検 査 室	(主な設備) 感染症関連検査装置/腫瘍マーカー検査装置/多項目自動分析装置/フローサイトメーター
細 菌 検 査 室	(主な設備) 血液培養自動分析装置/PCR
病 理 検 査 室	(主な設備) 密閉式自動包埋装置/自動染色装置/凍結切片作製装置
病 理 解 剖 室	(主な設備) 解剖台/臓器撮影装置/遺体保冷库
研 究 室	(主な設備) 応接セット、書棚、ロッカー2個、机2台、椅子3脚、電子カルテ端末2台、インターネット端末2台、冷蔵庫、作業台1台
講 義 室	室数 1 収容定員 500人 (講義室A・B・C)
図 書 室	室数 1 蔵書数 4,595冊程度、電子ジャーナル6,503タイトル
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 患者搬送用 保有台数 1台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積41.40㎡ (医薬情報室) 資料A-1参照

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 規則第9条の2第1項各号に掲げる事項を記載した書類を添付すること。

紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

1 算定期間 令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日

2 紹介率 73.3%

紹介患者の数 (A)	初診患者の数 (B)	紹介率 (A/B × 100)
20,071人	27,362人	73.3%

3 逆紹介率 94.8%

逆紹介患者の数 (C)	初診患者の数 (B)	逆紹介率 (C/B × 100)
25,953人	27,362人	94.8%

資料1-1「令和4年度（令和4年4月～令和5年3月）地域医療支援病院紹介率・逆紹介率計算表」参照

※1 各人数については、前年度の延べ人数を記入すること。

※2 紹介率及び逆紹介率は、小数点以下第1位まで記入すること。

※3 紹介率が80%以上であることを承認の要件とする場合で、紹介率が65%以上80%未満の病院にあっては、今後、2年間で紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を明らかにする書類を添付すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

共同利用の実績

(地域の医療従事者による診療、研究又は研修のための利用)

1 共同利用の実績

前年度の共同利用を行った医療機関の延べ医療機関 2,622件

うち、申請者と直接関係のない医療機関の延べ医療機関数 2,622件

※1 前年度の共同利用を行った医療機関の延べ機関数、これらの医療機関のうち申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数、共同利用に係る病床の病床利用率等を記入すること。

【高度医療機器利用実績内訳】

放射線関係		内視鏡・生理検査関係	
・CT	772 件	・上部内視鏡	132 件
・MRI	487 件	・下部内視鏡	212 件
・RI	9 件	・腹部超音波	203 件
・PET-CT	4 件	・心臓超音波	320 件
・骨密度	79 件	・甲状腺超音波	104 件
・上部消化管透視	0 件	・頰動脈超音波	78 件
・下部消化管透視	2 件	・その他超音波（下肢血管）	26 件
		・脳波	4 件
		・その他（ホルター心電図・トレッドミル・神経伝導検査・肺機能検査など）	190 件

共同利用に係る病床の病床利用率 19.3%

資料2-1「令和4年度開放型病床利用率」参照

2 共同利用の範囲等

- ・開放型病床、図書室、地域医療連携室、会議室・講義室
- ・医療機器（CT、MRI、PET-CT、RI、骨塩定量、消化管透視、内視鏡検査、超音波検査、心臓超音波検査、脳波）

※2 病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象としたものを記入すること。

3 共同利用の体制

共同利用に関する規程	① ・ 無	
利用医師等登録制度の担当者	氏 名	
	職 種	医師（地域医療福祉連携部長）

※3 共同利用に関する規程がある場合には、当該規程の写しを添付すること。

資料2-2「豊田厚生病院共同利用施設事業実施要綱」参照

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科	申請者との経営上の関係
令和5年3月31日時点 医科209機関、歯科151機関				
資料2-3「共同利用施設事業登録医名簿（医科）」「共同利用施設事業登録医名簿（歯科）」参照				

※4 申請に係る病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関についてのみ記入すること。

5 常時共同利用可能な病床数 25床 資料A-2～5参照

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

救急医療提供の実績

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職 種	氏 名	勤 務 の 態 様	勤 務 時 間	備 考
資料3-1「救急医療従事者一覧」参照					
			し非常勤 し非専従		

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	名称 (ICU)	6床
専用病床	名称 (HCU)	24床

※ 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記入すること。

3 重症救急患者に必要な検査又は治療を行うために必要な診療施設の概要

資料A-1・2参照

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要	24時間使用の可否
救命救急センター (外来)	987.27㎡	(主な設備) ポータブルエコー 血液ガス 無影灯	可
救命救急センター (病棟: ICU)	253.25㎡	(主な設備) ポータブル撮影 血液ガス モニター	可
診療放射線室 (画像診断)	1,764.81 ㎡	(主な設備) MRI CT PETCT X線透視撮影 骨密度測定	可
臨床検査技術科	781.61㎡	(主な設備) 自動分析装置 搬送ライン	可
中央手術室	1,878.27 ㎡	(主な設備) ポータブル撮影 顕微鏡 無影灯	可
内視鏡センター	510.98㎡	(主な設備) 上部・下部・消化器ファイバースコープ	可

4 救急医療の提供の実績

救急用又は患者搬送用の自動車により搬入した救急患者の延べ数	9,585人 (3,763人)
上記以外の救急患者の延べ数	21,249人 (1,655人)
合計	30,834人 (5,418人)

※ () 内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

5 保有する救急用又は患者搬送用の自動車の出動回数 0 回

資料3-2「車検証写し・患者搬送用自動車写真」参照

6 備考

「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第8号)に基づく愛知県知事の救急病院の認定 認定: 平成20年1月1日

※特定の診療科において、重症救急患者の受入れ体制を確保する場合は、その旨を記入すること。
既に、「救急病院等を定める省令」（昭和39年厚生省令第8号）に基づき知事の救急病院の認定を受けている病院及び「救急医療対策の整備事業について」（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記入すること。

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

1 研修の内容

資料4-1「地域の医療従事者への研修一覧」参照

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	19回
(2) (1) の合計研修者数	565人

※ 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。
 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無 (有)・無

資料4-2「医療従事者等に対する研修プログラム」参照

(2) 研修委員会の有無 (有)・無

資料4-3「教育委員会規約」参照

(3) 研修指導者

氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	備考
資料4-4「研修指導者名簿」参照					

※ 研修責任者については、備考欄にその旨を記入すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要 資料A-1～3参照

施設名	床面積	設備概要
講義室A	321.5㎡	(主な設備) 36席、スクリーン (講堂仕様：スクリーン、天井プロジェクター・ビデオ・DVDデッキ)
講義室B		(主な設備) 36席、スクリーン
講義室C		(主な設備) 36席、スクリーン
第1会議室	86.58㎡	(主な設備) 62席、スクリーン・天井プロジェクター・DVDデッキ
第2会議室	41.34㎡	(主な設備) 14席、スクリーン
第3会議室	41.07㎡	(主な設備) 20席、スクリーン
第4会議室	41.07㎡	(主な設備) 20席、スクリーン
第5会議室	99.24㎡	(主な設備) 61席、スクリーン・天井プロジェクター・DVDデッキ
第6会議室	52.18㎡	(主な設備) 29席、スクリーン
第7会議室	44.36㎡	(主な設備) 28席、スクリーン
第8会議室	49.66㎡	(主な設備) 27席、スクリーン
多目的室	71.64㎡	(主な設備) 28席、スクリーン

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

1 管理責任者等

	氏名	職種	役職等
管理責任者の氏名、職種、役職等		医師	病院長
管理担当者の氏名、職種、役職等		事務員 事務員 看護師 医師	企画室長 総務課長 地域医療連携課長 救命救急センター長

2 諸記録の保管場所及び分類方法

		保管場所	分類方法
<p>診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約</p>		病院日誌：総務課 紹介状：地域医療連携課 それ以外：電子カルテ内	病院日誌：日ごと 紹介状：日ごと 電子カルテ：患者ID
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	電子カルテ内 (地域医療連携課)	/
	救急医療の提供の実績	電子カルテ内 (総務課、救命救急センター外来)	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	電子カルテ内 (総務課)	
	閲覧の実績	電子カルテ内 (地域医療連携課)	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	電子カルテ内 (地域医療連携課)	

※「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	氏名	職種	役職等		
		医師	病院長		
閲覧担当者	氏名	職種	役職等		
		事務員 看護師	企画室長 地域医療連携課長		
閲覧場所	情報システム課、地域医療連携課、病棟				
総閲覧件数	医師	歯科医師	地方公共 団体	その他	合計
	0	0	0	0	0

閲覧手続の概要	<p>【情報システム課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護に関する誓約書を記入 ・電子カルテの閲覧は、指定のPCに限り可能とする（当該場所は見やすいよう掲示） ・当該患者のカルテのみ閲覧可能 ・電子カルテの閲覧は、情報システム課職員の立ち合いの下で行う <p>【地域医療連携課・病棟】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開放病床共同回診指導記録を記入 ・電子カルテの閲覧は、指定のPCに限り可能とする（当該場所は見やすいよう掲示） ・当該患者のカルテのみ閲覧可能 ・電子カルテの閲覧は、地域医療連携課においては地域医療連携課職員の立ち合いのもと、病棟においては医師または病棟職員の立ち合いのもとで行う
---------	---

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績

1 委員会の開催回数 4回

2 委員会における議事の概要

※委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

資料7-1「開催報告および出席者一覧」参照

令和4年度 第1回

日時：令和4年4月20日（水）

場所：WEBおよび書面開催

議事：(1) 前回議事録

(2) 令和3年度地域医療支援病院関連報告

(3) 令和3年度地域の医療従事者等に対する研修会（実績）

(4) 令和4年度地域の医療従事者等に対する研修会（計画）

令和4年度 第2回

日時：令和4年7月20日（水）

場所：WEBおよび書面開催

議事：(1) 前回議事録

(2) 紹介患者への医療提供および共同利用の実施に関すること

(3) トピックス「ASおよびTAVIについて」

(4) その他

・がん地域連携パスの実施件数について

・FAX送信の取り扱いについて

令和4年度 第3回

日時：令和4年10月19日（水）

場所：WEBおよび書面開催

議事：(1) 前回議事録

(2) 救急医療の提供に関すること

(3) トピックス「ペインクリニック外科のコンセプトと今後の方向性」

(4) その他

・救命救急センターの人員について

・手術支援ロボット（ダヴィンチ）の導入について

令和4年度 第4回

日時：令和5年1月18日（水）

場所：WEBおよび面開催

議事：(1) 前回議事録

(2) 地域医療支援に係る実績報告

- ・患者に対する相談体制について
- ・諸記録の管理と閲覧について

(3) トピックス「ダヴィンチ手術の導入について」

(4) 令和5年度の開催について

患者相談の実績

患者相談を行った場所	地域医療福祉連携部面談室1～5、患者相談対策室 資料A-1参照		
患者相談担当者	氏 名	職 種	役 職 等
	①医療福祉相談係：社会福祉士 7名 ②がん相談支援係：社会福祉士 1名 ③地域包括支援センター係：社会福祉士 2名・保健師 1名・看護師 1名 ④患者相談対策室：看護師 1名・社会福祉士 1名 資料 8-1「患者相談担当者名簿」参照		
患者相談件数	①医療福祉相談：32,050件 ②がん相談：4,521件 ③相談に対する対応件数：6,951件 ④患者相談：710件		

患者相談の概要

①医療福祉相談

内容	件数
心理・社会的処遇	449
治療と療養生活	632
家族関係・在宅生活	412
受診・入院	660
退院・転院	26,363
医療費・生活費・経済	1,292
手続き・診断書・保険	2,008
職業等社会生活	40
その他	194
合計	32,050

②がん相談

内容	件数
治療と療養生活	3,772
セカンドオピニオン	22
治療実績・受診・入院・退院・医療機関紹介	401
医療費・生活費・社会保障制度	215
不安・精神的苦痛・告知・コミュニケーション	57
その他	54
合計	4,521

③相談に対する対応件数

内容	件数
電 話	5,008
訪 問	1,196
来 所	450
その他	297
合計	6,951

④患者相談

内容	件数
職員の対応・接遇に関する事	68
医療費・会計、診療報酬に関する事	94
当院の診療システムに関する事	101
検査・診療協同に関する事	24
薬剤・薬剤科に関する事	14
疾患に関する事	158
医療安全に関する事	0
病院施設に関する事	44
社会資源に関する事	74
介護・在宅に関する事	122
その他	11
患者相談窓口事例報告（再掲）	0
合計	710

※ 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

資料8-2「相談対応事例記録」参照

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

居宅等における医療の提供の推進に関する支援の状況

居宅等医療提供施設等における連携の緊密化のための支援等の実績

在宅支援コーディネーター係（看護師12名、社会福祉士1名）の設置
 医療福祉相談係（社会福祉士8名）の設置
 訪問看護ステーション（看護師9名、理学療法士2名）の設置

医療を受ける者又は地域の医療提供施設に対する情報の提供の実績

在宅支援コーディネーター係
 退院調整：883件（新規件数）

医療福祉相談課
 対応：32,050件

訪問看護ステーション
 医療保険：529名、3,143件／介護保険：900名、4,546件

その他居宅等における医療の提供の推進に関し必要な支援の実績

在宅支援コーディネーター係：

豊田市役所との連携による訪問看護育成の講師（1回／年）

医療福祉相談課：

関係機関との会議等へ参加

豊田市要保護児童・DV対策協議会【書面開催】、愛知県児童虐待対応医療機関連絡会、豊田加茂児童虐待等関係機関連絡調整会議【書面開催】、地域連携パス会議（脳卒中・大腿骨骨折・在宅緩和ケア）、豊田市地域密着型包括支援ネットワーク会議【書面開催】、豊田市成年後見・法福連携推進会議、難病ネットワーク三河ブロック連絡員会議【WEB開催】、愛知県難病医療協議会、難病対策協議会（豊田保健所）【書面開催】、保健所・難病医療ネットワーク連携会議、認知症医療連携協議会、豊田市母子医療保健福祉ネットワーク会議、豊田市精神障がい者地域協議会、救急隊と医療・福祉合同研修、愛知県がん診療連携協議会相談支援部会、みよし市包括支援センター交流会 等

訪問看護ステーション：

豊田市、愛知県の在宅医療・福祉連携推進計画への協力及び参加を通し、ステーションの普及啓発、人材育成、多職種連携の強化の取り組みを継続

（1）豊田加茂訪問看護ステーション協議会参加

隔月1回の部会はZOOMで開催。感染対策時の対応や物資の供給窓口など、情報共有や検討議案等の協議を実施。

（2）愛知県訪問看護ステーション協議会主催「訪問看護管理者研修」の支援

管理者研修参加者に対して、GAP分析から自部署での取り組み対策の作成までの年間フォローを実施した。事業所での1日実習受け入れとアドバイス、自部署での取り組み対策立案まで年間を通して研修の支援を実施した。

（3）豊田厚生病院地域医療連携課主催「看護技術研修会」講師

豊田市・みよし市のクリニック及び病院の看護師等に対し、ZOOMにて6月と7月に2回実施。地域包括ケアシステム構築における訪問看護師の役割と、訪問業務について伝達講習を実施した。アンケートから、訪問看護師の役割理解や自施設での活用につなげたいという結果が得られた。

その他地域医療支援病院に求められる取組みの状況

1 連携体制を確保するための専用の室、担当者

専用の室の名称	地域医療連携課		
担当者	氏名	職種	役職等
		看護師	地域医療福祉連携課長

2 病院の機能に関する第三者による評価

評価を行った機関名	公益財団法人 日本医療機能評価機構
評価を受けた時期	認定期間：2014年3月15日～2019年3月14日
	認定期間：2019年3月15日～2024年3月14日

資料10-1「認定証コピー」参照

※医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

3 退院調整部門の取組

退院調整部門の実績 在宅支援コーディネーター係：看護師12名、社会福祉士1名 退院調整：883件（新規件数）
--

4 地域連携を促進するための取組みの実績

策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 資料10-2「地域連携クリニカルパス一覧」参照
地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み 院内会合 地域連携パス連絡会（年12回開催） 院外会合（担当持ち回り） 脳卒中地域医療連携パス運用会議（年3回開催）※WEB開催 大腿骨頸部骨折地域連携パス運用会議（年2回開催）※WEB開催 その他 開業医への新規連携説明訪問（随時）

5 病院が果たしている役割に関する情報発信の実績

情報発信の方法 ホームページ、広報誌（カモメイト、病院案内、外来案内、入院案内、病児保育室ぴよっごご利用案内、がん相談支援センターのご案内、通院治療センターのご案内）、地域医療連携のご案内、診療科のご案内、医療機関宛て案内（毎月）、インフォメーションモニター、院内掲示板
内容等の概要 資料10-3 各広報誌等参照

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。